

α 型マグネットは材料の安息角にあわせて 様々な角度のラインナップを取り揃えています

Q

粉体の中に入っている異物を除去したい！
異物が堆積してしまう！

マグネットバーの導入を検討しているが
どのようなものがあるかわからない...



A

マグネットバーを選ぶうえで大事なことは、
マグネットの①形状と②構造です。

① マグネットの形状で除去効率が変わる

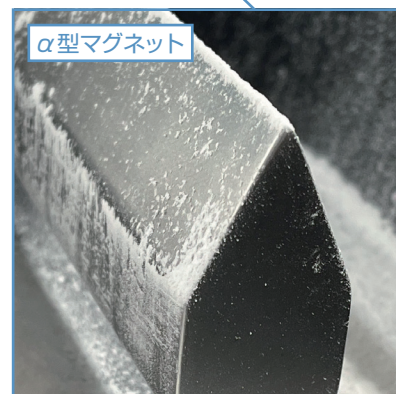
製品を流し、形状による堆積・付着を比較しました



上部に堆積し広がることで接触率が落ちる



上部に堆積することで接
触率が落ちる



当社の α 型マグネットは
上部に堆積しないことで
異物の回収率が高い

② マグネットの構造で除去効率が変わる

Q

形状だけ変更すれば異物は取れるの？

A

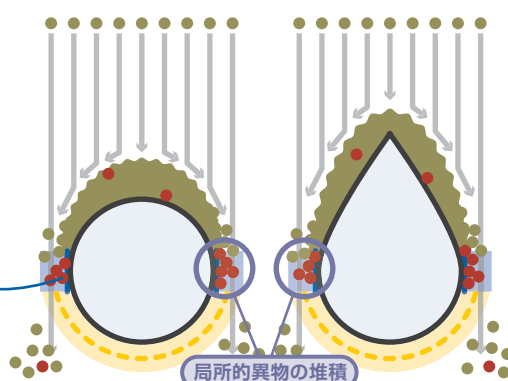
形状を変更しただけでは
粉の堆積は防げますが
異物の**局所的な堆積は防げません。**

先端をとがらせても製品は流れますが異物がどんどんと局所的に堆積してしまいます。

異物が堆積することでマグネットに当たらなくなり除去効率下がってしまいます。



どのような形状・構造にすればいいのか



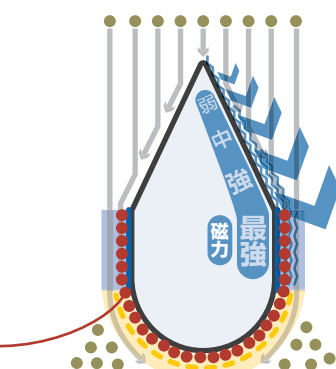
Φ25マグネット

製品(安息角)に不適合な角度のマグネット

青色部分のサイドに異物が局所的に堆積し広がることで、異物がマグネットに接触しなくなってしまいます。

黄色部分(下部)にも、異物が回りにくく回収率が落ちてしまいます。

→ 材料の流れ ● 製品 ● 異物



α型マグネット

α型マグネットは、材料の安息角に合わせて様々な角度のラインナップを取り揃えております

当社のα型マグネットは、先端から斜め部分で磁力が可変をすることで斜め部分の異物が堆積しづらくなる。

青線部分の異物の接触時間を長くしたことで、黄色部分(下部)に効率よく異物の回収ができます。

→ 材料の流れ ● 製品 ● 異物